

比治山小学校

音楽にかこまれた学校生活をめざした歌声づくりー

1 目的 歌声づくりを通して児童が音楽に親しみ、さまざまな学校生活の場面で表現や交流を行い、互いにその文化を高めようとする心を育てる。

2 教育課程上の位置づけ

音楽 総合 特別活動 課外活動

3 実施学年 全学年

4 実施時期 平成22年4月～平成23年3月

5 おもな内容

音楽朝会

プログラム

1. 英語に親しむ歌とスタンツ
2. 学年合唱の発表
3. 今月の歌の全校合唱

児童の取り組み

- ・各学級で朝の会、帰りの会での合唱の習慣
- ・歌声委員会から、各学級へ歌のMDや歌詞カードの配布、会の運営(司会、インタビュー、スタンツのリーダー、プログラム作り)
- ・放送委員会から、昼の放送で今月の歌の放送
- ・発表学年の学年合同音楽による合唱練習



集会活動

一年生を迎える会、おりづる集会、運動会の応援合戦、6年生を送る会などに合唱が位置づけられ、声を合わせて心を合わせ、会の意図を味わう。

学級内の係活動

- ・朝の会や帰りの会で歌やリコーダー演奏を児童が進める係の定着
- ・児童の自主的な係活動に、音楽を演奏してみんなに紹介する「演奏係」やBGM生演奏付きの「手品係」など、楽しい活動をすすめる。



文化の祭典「音楽の部」への参加

4, 5, 6年生の参加希望児童により、課外の練習時間を設定し、11月と12月の歌をさらに表現を深めた合唱に取り組む。校内では、音楽朝会で全校児童に披露。



6 成果と課題

一日の中で、教室で合唱をしたりリコーダーを吹いたりする時間を設け、児童が準備や進行をする姿が見られたり、創造的な係活動の取り組みの中に音楽を取り入れたりして、楽しむ活動が生まれている。また、全校の集会だけでなく、学年や学級の行事(お楽しみ会、PTC、ゲストティーチャーへのお礼の場面など)にもその場にあった音楽が選ばれ、歌声を合わせる機会が増している。

音楽朝会を始めとした、発表の場面では、歌声の深まり、歌への意識の高まりが感じられる。そして鑑賞会に参加する態度や、演奏、話の聴き方が上手になっていっていることは、さらに演奏の向上につながっていくものと思われる。

低学年の児童が歌やスタンプを練習するところに高学年の児童がお手伝いに行ったときに、両者がとても親しみをもって楽しく歌ったり踊ったりしたことから、来年度は、歌声づくりの活動が異学年の交流をさらに進めることができるのではないかと考える。